

2026年6月19日(金)

日本歯科専門医機構認定共通研修

14:20 ~ 15:20 | 第2会場 (ウイंकあいち 6F 展示場604+605)

日本歯科専門医機構共通研修1 (①医療倫理 1単位) **臨床医学の実践および医学系研究に求められる医療倫理**

司会：石田 雄一 (徳島大)

[CT1] 臨床医学の実践および医学系研究に求められる医療倫理

*吉村 弘¹ (1. 徳島大学大学院口腔科学研究科口腔生理学分野)

日本歯科専門医機構認定共通研修

15:40 ~ 16:40 | 第2会場 (ウイंकあいち 6F 展示場604+605)

日本歯科専門医機構共通研修2 (⑤医療関連法規・医療経済 1単位) **歯科補綴治療の価値と近未来**

司会：羽鳥 弘毅 (奥羽大)

[CT2] 歯科補綴治療の価値と近未来

*赤司 征大¹ (1. WHITE CROSS株式会社)

日本歯科専門医機構認定共通研修**■ 2026年6月19日(金) 14:20 ~ 15:20 | 会場 第2会場 (ウインクあいち 6F 展示場604+605)****日本歯科専門医機構共通研修1 (①医療倫理 1単位) 臨床医学の実践および医学系研究に求められる医療倫理**

司会：石田 雄一（徳島大）

吉村 弘先生は、徳島大学にて長年にわたり教育・研究に尽力されるとともに、現在は他大学の客員教授としても幅広くご活躍されています。生理学を専門とされ、在職中は大学院生を対象に医療倫理・研究倫理の講義を継続して担当され、多くの学生の倫理観の醸成に寄与されてきました。体系的で分かりやすいご講義には定評があり、本講演においても臨床や研究における倫理的課題を考えるうえで、多くの示唆が得られることを期待しております。

[CT1] 臨床医学の実践および医学系研究に求められる医療倫理*吉村 弘¹ (1. 徳島大学大学院口腔科学研究科口腔生理学分野)

日本歯科専門医機構認定共通研修

2026年6月19日(金) 14:20 ~ 15:20 | 第2会場 (ウインクあいち 6F 展示場604+605)

日本歯科専門医機構共通研修1 (①医療倫理 1単位) 臨床医学の実践および医学系研究に求められる医療倫理

司会：石田 雄一 (徳島大)

[CT1] 臨床医学の実践および医学系研究に求められる医療倫理

*吉村 弘¹ (1. 徳島大学大学院口腔科学研究科口腔生理学分野)

キーワード：医学倫理の「4原則」、利益相反の最小化、臨床研究に関する倫理指針

医療倫理とは、医療従事者が臨床医学の実践および臨床研究において守るべき行動規範・原則であり、医療現場で生じる様々な倫理課題に対する最良の道徳的判断基準の役割を持ち、一連の価値観から成り立っている。その目的は、患者の尊厳と権利を最大限尊重し、公平・公正な医療の実現である。医療倫理が扱う対象は、診療における臨床倫理および生命科学における研究倫理である。医療従事者は、医療現場において患者それぞれの価値観に基づく自己決定権を尊重して適切に対応していかなければならない。また、人を対象とする医歯学系研究は、国民の健康の保持増進、傷病からの回復または生活の質の向上を目的として実施される。一方で、人を対象とするこのような研究は、研究対象者の身体及び精神はもとより社会に対しても大きな影響を与え、それにより新たな倫理的、法的又は社会的課題を招く可能性がある。したがって、研究の計画・実施に際しては、高度な倫理性が要求される。

日本歯科専門医機構認定共通研修

■ 2026年6月19日(金) 15:40 ~ 16:40 | Ⅱ 第2会場 (ウインクあいち 6F 展示場604+605)

日本歯科専門医機構共通研修2 (⑤医療関連法規・医療経済 1単位) 歯科補綴治療の価値と近未来

司会：羽鳥 弘毅 (奥羽大)

[CT2] 歯科補綴治療の価値と近未来

*赤司 征大¹ (1. WHITE CROSS株式会社)

日本歯科専門医機構認定共通研修

2026年6月19日(金) 15:40 ~ 16:40 | 第2会場 (ウインクあいち 6F 展示場604+605)

日本歯科専門医機構共通研修2 (⑤医療関連法規・医療経済 1単位) 歯科補綴治療の価値と近未来

司会：羽鳥 弘毅 (奥羽大)

| [CT2] 歯科補綴治療の価値と近未来

*赤司 征大¹ (1. WHITE CROSS株式会社)

キーワード：日本の社会保障制度の近未来、AI・ロボティクスと歯科補綴、歯科医師が持つべき職業観

国民皆医療保険制度のもと、日本の歯科医療は独自の制度的・社会的環境の中で発展し、世界的にも特徴的な医療体系を形成してきました。本講演では、日本社会における人口構造や価値観の変化、歯科疾患構造の推移を背景に、補綴治療を含む歯科医療へのニーズとその価値の変遷について多角的に整理します。日本はすでに超高齢社会から多死社会へと移行しており、健康寿命の延伸や医療費抑制を目指す政策の中で、口腔機能管理、医科歯科連携、予防および重症化予防といった領域の重要性が高まっています。その一方で、咀嚼機能の回復を中心とする補綴治療は、歯科医療の根幹を成すコアバリューとして、今後も引き継がれるべき人類の知的資産であり続けます。講演では、歯科医学・経営学・公共政策学の視点から、関連法規や診療報酬改定の動向、各種統計データを参照しながら、補綴治療を取り巻く制度的背景と社会的役割を整理します。さらに、歯科技工士不足を背景とした歯科技工産業の構造変化や、CAD/CAM、光学印象、3Dプリント義歯、デジタル歯科技工指示書などのデジタル技術が補綴治療にもたらす直接的变化について考察します。加えて、AIやロボティクスが医療・介護分野に与える間接的影響にも触れながら、歯科医療の提供体制の変化と歯科医師という専門職の将来像を展望します。これらの視点を通じて、日本型歯科医療の進化の方向性と、その社会的価値の持続的発展について考察します。当日、皆様とお会いさせていただきますことを、心より楽しみにしております。